

事務事業名		男女共同参画市民意識啓発事業			☐ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業				
政策体系	政策名	相互に理解し、尊重し合う地域社会の実現			事業期間		予算科目				
	施策名	人権の尊重と男女共同参画社会の構築					会計	款	項	目	事業
	基本事業名	男女共同参画意識の醸成					☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 平成 7 年度 ~) ☐ 期間限定複数年度 (計画期間) 年度 ~ 年度 全体計画欄の総投入量を記入	01	02	01	11
根拠法令											
所属	部課名	企画政策部活力推進課									
	係名	男女共同参画係	電話	27-3111							
			内線	214							
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)					全体計画(期間限定複数年度のみ)						
例年実施している事務の内容は次のとおり。 ・男女共同参画「いきいき講座」の開催:男女共同参画の意識啓発講座を実施。 ・男女共同参画「いきいき出前講座」の開催:事業所や地域公民館、団体等へ出向き、男女共同参画の意識啓発講座を実施。 ・情報紙「いきいき通信」の発行(年2回):編集はボランティアスタッフ。市内全世帯に配布。 ・男女共同参画週間(6/23~29)協賛事業の実施:男女共同参画関連図書等の図書館内での展示。市広報への関連記事の掲載。 ・市外で行われる男女共同参画関連イベントへの参加(関係団体等に情報提供し、市バスを利用して参加。) ・男女共同参画室ホームページの更新(随時) ・平成22年度事業費は282,618円、主なものは、講師謝金等107,200円、印刷製本費96,498円。					総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金				
							都道府県支出金				
							地方債				
							その他				
							一般財源				
							事業費計(A)	0			
人件費	正規職員従事人数										
	延べ業務時間										
	人件費計(B)	0									
	トータルコスト(A)+(B)	0									

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)		
手段(主な活動)		名称		
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位		
「男女共同参画関連図書展」「いきいき講座(家族で木工作り、家族でクリスマスリース作り、再チャレンジ支援講座)」、「いきいき出前講座(大船渡市各種女性団体連絡協議会主催大船渡市女性まつり)」、「いわて男女共同参画フェスティバル」「いわて女性のつどい」への参加。(東北地方太平洋沖地震津波による災害のため、「いきいき通信」は2回目の発行→H23.3.22発行予定→をとりやめ、「ステップアップ講座(市民活動団体スキルアップ講座)」~ 今年度計画(今年度に計画している主な活動) 「いきいき講座(家族でクリスマスリース作り)」、「いわて女性のつどい」への参加。		ア	「いきいき講座」の開催回数	回
		イ	「いきいき通信」の発行部数	部
		ウ		
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)		
市民		名称		
		単位		
		カ	市の人口	人
		キ		
		ク		
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)		
男女共同参画に関心をもってもらう		名称		
		単位		
		サ	各種講座の延参加者数	人
		シ	「いきいき出前講座」の開催回数	回
		ス	講座を理解出来たと答えた受講者の割合	%
結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)				
男女共同参画意識をもってもらう				

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	17年度(実績)	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)
投入量	事業内訳	単位						
		千円						
事業費	国庫支出金	千円						
	都道府県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	323	303	259	333	330	283
	事業費計(A)	千円	323	303	259	333	330	283
人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1
	延べ業務時間	時間	330	350	330	400	500	500
	人件費計(B)	千円	1,320	1,400	1,320	1,600	2,000	2,000
	トータルコスト(A)+(B)	千円	1,643	1,703	1,579	1,933	2,330	2,283
活動指標	ア	回	2	2	1	2	2	2
	イ	部	15,200	15,200	15,200	15,200	15,200	15,200
	ウ							
対象指標	カ	人	43,209	42,575	42,158	41,957	41,506	42,000
	キ							
	ク							
成果指標	サ	人	171	210	49	220	501	378
	シ	回	0	2	1	4	2	1
	ス	%				91.0	96.2	データなし

事務事業ID	0359	事務事業名	男女共同参画市民意識啓発事業
--------	------	-------	----------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等			
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？			
平成7年度に、女性施策の総合的な企画・調整を図る窓口として「女性政策推進室」を設置したのがきっかけである。			
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？			
平成11年に男女共同参画社会基本法が、同14年には大船渡市男女共同参画推進条例が制定された。 平成7年の市民意識調査で、男女が平等になっていない要因について、「社会通念、慣習、しきたり」をあげた人が最も多かったが、この傾向は、平成14年に実施した同様の調査においても変わらなかった。 平成18年の市民意識調査の結果では、「男は仕事、女は家庭」という考え方について、54%の人が「そうは思わない」と答えており、平成14年調査と比較すると、この考え方を「そうは思わない」人は52.3%から1.7ポイント増加し、「そう思う」人が16.7%から4.3ポイント減少したことから、当市における男女共同参画意識は徐々に浸透してきているが、依然として、12.4%の肯定的意見があり、性別による固定的な役割分担意識が根強く残っているといえる。			
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？			
「いきいき講座」に関して、男女共同参画審議会委員から、「子育て世代が参加できるもの」「民間の団体と共催で開催し、参加者を増やすべき」「対象を絞った講座の企画」といった意見が出されている。			

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある [理由]  3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている [理由]  この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	男女共同参画の意識啓発事業は、大船渡市男女共同参画行動計画に基づくもので、本市の男女共同参画社会の構築に資するものであり、政策体系に結びつく。
	公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由]  3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である [理由]  なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	大船渡市男女共同参画推進条例第14条「市は、市民等の男女共同参画についての理解を促進するために必要な広報活動等を行うよう努めるものとする」との規定に基づき実施するものであり、妥当である。
	対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由]  3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である [理由]  対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	この事業は、すべての市民が対象となるものであり、現段階では対象の拡大も縮小もできない。意図については、今後、男女共同参画の「理解」から「意識の定着」へと拡大の余地はあるが、男女共同参画の概念が登場して日も浅く、それに至るまでには時間がかかるものと思われる。
有効性 評価	成果の向上余地	☒ 向上余地がある [理由]  3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない [理由]  成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	「いきいき講座」や「出前講座」では、参加が少ない子育て世代の参加を増やすことにより、これまで以上に幅広い層への意識啓発ができる。
	廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 [理由]  3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 [その内容]  事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	男女共同参画社会の実現には、その主体となる市民や各種団体等への情報提供が不可欠であり、この事業を廃止すると、意識啓発を図る手段を失うことになる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある  (具体的な手段、事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる [理由]  3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない [理由]  目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	庁内に類似事業はない。現状では、当該事業を継続する以外にない。
効率性 評価	事業費の削減余地	☒ 削減余地がある [理由]  3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 削減余地がない [理由]  成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	各種講座の講師に、男女共同参画サポーター認定者など地元の人材を活用することにより、旅費の削減ができる。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある [理由]  3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由]  やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	情報紙の編集にボランティアを活用するなど人件費の削減に努めているが、男女共同参画審議会委員をはじめ、各方面から、まだまだ意識啓発が足りないとの指摘があり、これ以上の削減は難しい状況にある。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある [理由]  3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である [理由]  事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	「いきいき講座」「いきいき出前講座」「ステップアップ講座」の受講や「いきいき通信」の購読は、いずれも無料としている。受益者負担を求めれば、幅広い啓発に支障を来たすので、材料費など特別な費用が必要でない限り、無料が望ましいと考える。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																															
<table><tr><td>目的妥当性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>有効性</td><td>☐ 適切</td><td>☒ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>効率性</td><td>☐ 適切</td><td>☒ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>公平性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr></table>	目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	・「いきいき講座」では、大船渡市働く婦人の家と大船渡市男女共同参画室とで共催し、再就職を希望する女性を対象に「再チャレンジ支援講座」を開催した。全6回の講座で、男女共同参画センター職員によるワークライフバランスや、ジョブカフェ職員による就職活動についての講座、パソコン基礎講座等、再就職に向けての知識を深めた。受講者からは、日常を振り返り見つめなおす時間が持てたと好評であった。また、託児所を設置し、毎回受講者に利用された。 ・同じく、「家族と作る講座」では、父子等での木工作り・クリスマスリース作りなど、日頃、仕事などで忙しい父親等が子どもと一緒に物作りを楽しみ、家族間のコミュニケーションを深めるとともに、子育てへの参画促進を図ることができた。 ・大船渡市各種女性団体連絡協議会主催の「大船渡市女性まつり」へ講師を派遣した。 ・男女共同参画関連図書展は、国の「男女共同参画週間」及び県の「いわて男女共同参画推進月間」協賛事業として、市立図書館で6月19日(土)～28日(月)の10日間にわたり開催し、広く啓発を図ることができた。 ・「いきいき通信」はボランティア編集委員会による取材や編集作業を重ね、9月21日に全世帯に配布、情報提供ができた。																			
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																														
有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																														
効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																														
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																														
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)	(4) 改革・改善による期待成果																															
<table><tr><td>☐ 廃止</td><td>☐ 休止</td><td>☐ 目的再設定</td><td>☐ 事業統合・連携</td><td>☐ 現状維持</td></tr><tr><td colspan="5">事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 公平性改善)</td></tr></table> (上記方向性に対する具体的な内容) ・「いきいき講座」は、複数回開催の内の1回を、「子育て講座」「仕事と家庭の両立」など20歳から30歳代の子育て世代が関心を持ち、気軽に参加できるものとする。 ・「いきいき講座」「出前講座」の講師に、講座のテーマに適した市民や県の男女共同参画研修修了者などをしてできる限り活用する。 ・子育て支援や仕事と家庭の両立支援のため、女性就労支援講座の開催や、市内事業所への出前講座の開催を働きかけていく。	☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☐ 現状維持	事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 公平性改善)					左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td>●</td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td>×</td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td>×</td><td>×</td></tr></table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			●	維持			×	低下		×	×
☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☐ 現状維持																												
事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 公平性改善)																																
		コスト																														
		削減	維持	増加																												
成果	向上			●																												
	維持			×																												
	低下		×	×																												
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																																
子育て世代は、休日は育児や家事などで忙しく、講座へ足を運んでもらうことが難しいと考えられる。 市内の育児支援グループに協力を依頼し、子育て世代が何に関心を持っているのか、父親の参加を促すためにはどうしたら良いかなどのアドバイスをもらうとともに、開催に当たってはグループのネットワークを活用して周知を図る。また、託児所の設置も欠かせない。																																

(職 名) 原則として施策の主管課長

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	企画政策部活力推進課
-------	------------

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合

記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)

- ☐ 記述不足でわかりにくい
- ☐ 一部記述不足のところがある
- ☒ 記述は十分なされている

評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)

- ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)
- ☐ 一部に客観性を欠いたところがある
- ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)

(2) 2次評価者としての評価結果

目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり
有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり
効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり

(3) 評価結果の根拠と理由

講座での地元講師の活用、育児支援グループとの連携強化などにより、成果の向上を図ることが今後の課題と思われる。

(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)

- | | | | | |
|---|-----------------------------|--------------------------------|----------------------------------|-------------------------------|
| ☐ 廃止 | ☐ 休止 | ☐ 目的再設定 | ☐ 事業統合・連携 | ☐ 現状維持 |
| 事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 公平性改善) | | | | |

(上記方向性に対する具体的な内容)

「いきいき講座」「出前講座」の講師に、講座のテーマに適した市民や県の男女共同参画研修修了者など、地元の方の活用を図り、市内事業所への出前講座の回数を増加するとともに、仕事と家庭両立支援啓発パンフレットの配布などの実施について検討することが必要。

(5) 改革・改善による期待成果

左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。

(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			●
	維持			×
	低下		×	×

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項